

OMU イノベーション共創フォーラム

都市大阪の「知の拠点」 大阪公立大学の 総合知を結集し、 未来社会を 拓く！

大阪府立大学と大阪市立大学が統合し、昨年誕生した大阪公立大学が掲げる「技術インキュベーション」・「都市シンクタンク」機能を実現する活動として、「OMUイノベーション共創フォーラム」を開催します。第一弾として、「医工連携」の取組みを皆様にご紹介します。大阪公立大学の医療従事者・研究者とモノづくり企業・医療機器企業等とのマッチングを通じて、医工連携をテーマとした産学連携による共創でイノベーション創出を目指します。最先端の研究者と直接の情報交換や事業化の一助となる情報を得ることができる貴重な機会ですので、ぜひ会場にお越しください。

2023
3/27 月 13:30
17:30

参加
無料

開催方式 会場とオンラインライブ配信のハイブリッド

会場 QUINTBRIDGE 大阪・京橋

対象者 どなたでも

タイムスケジュールは裏面をご覧ください

●主催：大阪公立大学 ●後援：近畿経済産業局*、大阪府、大阪市、堺市 ●特別協力：次世代医療システム産業化フォーラム（大阪商工会議所）

●協力：堺商工会議所、日本政策金融公庫、三井住友銀行*、池田泉州銀行、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、公益財団法人大阪産業局*、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）、関西イノベーションイニシアティブ（KSI）、大阪イノベーションハブ（OIH）*

*は予定

申込方法 お申込みはWEBサイトから ▶ <https://www.omu.ac.jp/ura/info/news/entry-22513.html>

会場
のご案内

QUINTBRIDGE（会場参加：申込先着50名様）

〒534-0024 大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15番82号 <https://www.quintbridge.jp/about/#overview>

JR大阪環状線「京橋駅」北口：徒歩約10分 / 京阪本線「京橋駅」西口：徒歩約10分 / 地下鉄長堀鶴見緑地線「京橋駅」：徒歩約5分

お問合せ



大阪公立大学 学術研究推進本部 URAセンター

TEL 072-254-9128

FAX 072-254-7475

E-MAIL gr-knky-uracenter@omu.ac.jp



OMUイノベーション共創フォーラム プログラム

日時 2023年3月27日（月） 13:30～17:30

会場 QUINTBRIDGE 1F メインステージ（会場とオンラインのハイブリッド）

時間	内容	所属/職名	発表者
13:30	開会あいさつ	副学長 学術研究推進本部副本部長 教授	藤村 紀文
13:40	基調講演 ヘルスケア/医療連携のイノベーション	元オムロンヘルスケア株式会社 執行役員専務	小林 洋
第1部 前半 座長：工学研究科長・工学部長 綿野 哲			
14:10	せっかく大阪公立大学になったのだから、もっと医工連携 やってみよう！	学長特別補佐 医学研究科 心臓血管外科学 教授	柴田 利彦
14:30	聴覚障害をテクノロジーで克服を！	医学研究科 耳鼻咽喉病態学 教授	角南貴司子
14:50	地球規模の健康課題へ挑戦する精密迅速検査開発 (POCT: Point of Care Testing)	医学研究科 寄生虫学 博士課程	仁田原裕子
15:10 } 15:20	休憩（10分間）		
第1部 後半 座長：学長特別補佐 柴田 利彦			
15:20	粉体工学を活用した医工連携と産業への応用	工学研究科長・工学部長 物質化学生命系専攻 化学工学分野 教授	綿野 哲
15:40	核酸アプタマーの選抜法開発と展望	工学研究科 物質化学生命系専攻 応用化学分野 准教授	末吉 健志
16:00	内視鏡画像からの3次元計測による心臓手術支援システム	工学研究科 電気電子系専攻 電気電子システム工学分野 講師	吉本 佳世
16:20	抗体作製技術の開発と医学応用	工学研究科 物質化学生命系専攻 化学バイオ工学分野 教授	立花 太郎
16:40 } 16:50	オンライン配信終了 / 休憩（10分間）		
第2部 マッチングタイム			
16:50	1階スペースで、登壇された先生と来場者とのマッチング会（名刺交換）	MDFの紹介	
17:30	閉会		

基調講演 13:40-14:10

ヘルスケア/医療連携のイノベーション



講師 元オムロンヘルスケア株式会社
執行役員専務

小林 洋氏

京都工芸繊維大学卒
元オムロンコーリン株式会社代表取締役社長
大阪商工会議所 ライフサイエンス アドバイザー
神戸医療産業都市推進機構 神戸リサーチコン
プレックス協議会担当コーディネーター
健康医療デザインアドバイザー

COVID-19の渦中、リモート診療（遠隔医療）の取組みが進み始めました。

その大きな流れの中、健康（ヘルスケア、家庭、職場、環境）と医療の連携について、医療現場・アカデミア・産学官連携と新しいシステムを作り出すポイント（考え方や社会実装などの目標）と、研究・技術開発の関係性を、血圧測定という共通INDEXをベースにお話をします。

デジタルなイノベーション（DX）に期待しています。